

# 第715回関西蔵前午餐会

**演題** あをによし奈良を尋ねる

2018年6月5日(火)

徳田幸紀 (1994年博卒 化環境)

# 演題について「あをによし奈良を尋ねる」

**あをによし** = 寧楽(奈良)にかかる枕詞(\*1)。

○枕詞は特定の言葉の前につけ言葉を修飾したり、口調を整えたりするもの。

○あをに⇒青丹

○広辞苑によると、青丹は岩緑青という青黒い土の名前。染料、画材として使用される。奈良で顔料の青丹が産出されていたと秘府万葉集にあるが、事実か伝説かは不明(\*1)。

**尋ねる** = 手がかりをたどりつつ物事の淵源・道理をさぐり求める(\*1)。

あをによし  
寧楽の京師は

咲く花の  
薫ふがごとく  
今盛りなり

「小野老  
万葉集」

# 青丹について

薬師寺西塔



青色

丹色

青丹は青色と丹色(\*2)  
青色⇒塔の連子窓に使われている色  
丹色⇒扉や柱に使われている色

明治31年創業 御菓子司 鶴屋徳満  
「青丹よし」は和三盆糖のお菓子



## 発表の内容

世界遺産とは

日本の世界遺産

奈良の世界遺産

古事記と日本書紀

天皇制の始まり

聖徳太子の伝説(1)(2)

大化の改新

平城遷都(1)(2)

千年続く「東大寺お水取り」

・・薬師寺・・

薬師寺の玄奘三蔵

日本最古の金剛力士像(1)(2)

相撲の発祥

役行者と修験道

大峯千日回峰行(1)(2)

吉野のさくら(1)(2)(3)

ソメイヨシノ（染井吉野）

大和は國のまほろば・・・

まとめ

出典(1)(2)

# 世界遺産とは

国連教育科学文化機関。1946年設立。日本は多くの資金を拠出。

○世界遺産 = 1972年に第17回ユネスコ総会で採択された**世界遺産条約**によって認められた自然遺産と文化遺産のこと。

世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約

○世界遺産に登録されると認知度が上がり、観光地としての価値が高まることが期待される。

○世界遺産条約の締約国は191カ国。日本はこの条約を1992年に批准した。

○世界遺産は2017年12月末現在、世界で1073件、日本で21件登録されている。

# 日本の世界遺産

これまでに日本で登録された世界遺産を以下に示す(\*3)

- 1 **法隆寺地域の仏教建造物 文化遺産 / 1993**
- 2 姫路城 文化遺産 / 1993
- 3 屋久島 自然遺産 / 1993
- 4 白神山地 自然遺産 / 1993
- 5 古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市） 文化遺産 / 1994
- 6 白川郷・五箇山の合掌造り集落 文化遺産 / 1995
- 7 原爆ドーム 文化遺産 / 1996
- 8 厳島神社 文化遺産 / 1996
- 9 **古都奈良の文化財 文化遺産 / 1998**
- 10 日光の社寺 文化遺産 / 1999
- 11 琉球王国のグスク及び関連遺産群 文化遺産 / 2000
- 12 **紀伊山地の霊場と参詣道 文化遺産 / 2004**
- 13 知床 自然遺産 / 2005
- 14 石見銀山遺跡とその文化的景観 文化遺産 / 2007
- 15 平泉-仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 文化遺産 / 2011
- 16 小笠原諸島 自然遺産 / 2011
- 17 富士山－信仰の対象と芸術の源泉 文化遺産 / 2013
- 18 富岡製糸場と絹産業遺産群 文化遺産 / 2014
- 19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業 文化遺産 / 2015
- 20 ル・コルビュジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献 文化遺産 / 2016
- 21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 文化遺産 / 2017

# 奈良の世界遺産

## ○法隆寺地域の仏教建造物 文化遺産 / 1993

生駒郡斑鳩町にある法隆寺の建造物47棟と法起寺の三重塔。聖徳太子に所縁があり、中国六朝時代の影響を受ける。

## ○古都奈良の文化財 文化遺産 / 1998

東大寺、興福寺、春日大社、元興寺、薬師寺、唐招提寺、春日原始林、平城宮跡など8件。国宝、特別史跡、特別天然記念物などに指定。

## ○紀伊山地の霊場と参詣道 文化遺産 / 2004

奈良県、和歌山県、三重県にまたがるもの。吉野・大峯、熊野三山、高野山の3つの霊場。それらを結ぶ大峯奥駈道、熊野参詣道、高野山町石道などの参詣道。

2007年に「**飛鳥、藤原の宮都とその関連資産群**」がユネスコの世界遺産暫定リストへの追加掲載が決定。石舞台古墳や高松塚古墳、藤原宮跡や大和三山などが含まれている。

# 古事記と日本書紀

古事記、日本書紀とも第40代天武天皇（在位期間673－686年）の命令により奈良時代に編纂された。概要は以下の通り(\*4)。

古事記	日本書紀
稗田阿礼が暗記していた内容を太安万侶が編纂。	当時の史書や記録などを幅広く参考にし、川嶋皇子、忍壁皇子らにより編纂、舎人親王らが完成させた。
712年に完成。第43代元明天皇に献上。	720年に完成。第44代元正天皇に献上。
天皇家の歴史や神話などを示す。歌が多く含まれる。3巻。	国家の公式な歴史を示す。中国や朝鮮半島の文献を引用。約30巻。

※ 万葉集は759年までに詠まれた歌集をまとめたもので約4500首が収録されている、奈良の地名が詠み込まれた歌は約900首にも及ぶ。大伴家持らが編纂。



# 天皇制の始まり



神武天皇陵

在位 紀元前660 – 585年  
崩御 紀元前584年

橿原神宮には神武天皇が祀られているが古事記や日本書紀により初代天皇とされている。橿原神宮は1890年に第122代明治天皇により創建された。

南九州の日向から東征し大和を平定、紀元前660年1月1日(新暦2月11日)に即位した。

天皇が即位した**2月11日は建国記念日**とされている。

2016年(平成28年)は神武天皇が崩御され2600年に当たる年であり、橿原神宮で神武天皇二千六百年式年祭が行われた。前回は1916年(大正5年)の神武天皇二千五百年式年祭であり、100年ぶりの式年祭であった(\*5\*6)。

橿原神宮



# 聖徳太子の伝説(1)



橘寺

出生は574年。飛鳥にある橘寺が生誕の地である。  
本名は厩戸皇子。聖徳の名は没後のおくり名と考えられている。  
最近の教科書では厩戸王（聖徳太子）とされている(\*7)。  
父親は第31代用明天皇で天皇家の一族である。  
当時大和朝廷の有力豪族であった蘇我氏との血縁関係も濃厚。  
第33代推古天皇が初の女帝として即位すると、皇太子に立ち  
摂政として多大な功績を残した⇒次スライド参照。

1930年日本銀行券100円券に初めて採用。  
これまで計7回銀行券の顔として最も多く登場  
した(\*8)。

## 聖徳太子が採用された日本銀行券

1930年	乙百圓券	1950年	B千円券
1944年	い百圓券	1957年	C五千円券
1945年	ろ百圓券	1958年	C一万円券
1946年	A百円券		

(年号は発行年)

# 聖徳太子の伝説(2)



仏教はネパールで生まれ、第29代欽明天皇のとき日本に正式に伝わったとされている  
(538年、552年 仏教公伝 \*9)

日本ではヤマト王権 (大和朝廷) が支配

斑鳩宮

聖徳太子が601年に造営、  
605年に移り住んだ  
仏教に対する深い造詣

- 603年 . . . . . 冠位十二階制定(能力に応じ人材登用)
- 604年 . . . . . 17条憲法制定(道徳的な規範)
- 600-618年 . . . 小野妹子らを遣隋使として派遣

太子道  
約28km

豊浦宮

592年第33代女帝推古天皇が即位  
天皇は神祀りの司祭者

飛鳥寺  
(法興寺)

日本最初の仏教的寺院  
蘇我馬子の発願により596年に完成  
鎮護国家の立場→物部氏、中臣氏と対立

この時代に仏教の基盤が築かれた。

# 大化の改新

聖徳太子の没後、蘇我蝦夷が実権を握り、蘇我氏の勢力が天皇家を上回るほど強くなった。蝦夷の子である蘇我入鹿は聖徳太子の子である山背大兄王を倒し、太子の一族を滅ぼすこととなった。

## 645年乙巳の変（いっしのへん）

当時の中国である唐から帰国した留学生や学問僧たちにより官僚的な中央集権国家を建政しようとする新たな動きが起こった。その代表的な人物である中大兄皇子と中臣鎌足（のちの藤原鎌足）が蘇我入鹿を殺害し蘇我一族を滅ぼすこととなった。



談山神社←談らいの山  
祭神は藤原鎌足

第36代孝徳天皇が「改新の詔」を発令。  
その後の改革も含めて**大化の改新**と呼ばれている。  
公地公民制・国郡制度・班田収授法・租庸調の税制

豪族から天皇中心の時代への転換点となった。



飛鳥寺 蘇我入鹿首塚

# 平城遷都(1)

7 - 8世紀は遷都が頻繁に行われていた。

- 643年 飛鳥板蓋宮 (皇極天皇)
- 652年 難波長柄豊碕宮 (孝徳天皇)
- 655年 飛鳥板蓋宮 (齐明天皇)
- 655年 飛鳥川原宮 (同上)
- 656年 後飛鳥岡本宮 (同上)
- 667年 近江大津宮 (天智天皇)
- 672年 飛鳥浄御原宮 (天武天皇)
- 694年 藤原京 (持統天皇) →
- 710年 平城京 (元明天皇)**
- 740年 恭仁京 (聖武天皇)
- 744年 難波京 (同上)
- 745年 紫香楽宮 (同上)
- 745年 平城京 (同上)**
- 784年 長岡京 (桓武天皇)
- 794年 平安京 (同上) ←

藤原宮跡



平安遷都以降1000年以上日本の首都は京都にあった。  
元江戸城であったものが1868年(明治元年)に皇居とされ、  
翌年第122代明治天皇が新しい皇居に遷られた。  
これにより日本の首都は東京へ移ることとなった。

## 平城遷都(2)



平城宮跡歴史公園 朱雀門

2010年には平城遷都1300年祭が開催され約360万人以上が訪れた。2018年3月24日平城宮跡歴史公園がオープンした。

平城宮跡歴史公園 遣唐使船の展示

710年年第43代元明天皇のときに当時権力を握っていた藤原不比等が中心になり遷都が行われた。藤原京にあった薬師寺、大官大寺、法興寺が平城京に遷され藤原氏の氏寺である興福寺が建立された。東大寺の盧舎那仏も同時代に造立された。

平城遷都により華やかな天平文化は最盛期を迎えた。



## 千年続く「東大寺お水取り」

743年聖武天皇は東大寺の廬舎那仏の詔を発し、752年に大仏の開眼供養が行われた。二月堂もこのときに創建された。

**修二会（しゅにえ）**…東大寺二月堂で行われる行事。752年に始まった。正式名称は「十一面悔過（じゅういちめんげか）」。われわれが日常に犯している様々な過ちを、二月堂の本尊である十一面観世音菩薩の宝前で、懺悔（さんげ）することを意味する。

毎年3月1日から2週間行われ、12日深夜には「お水取り」が行われる（\*10）。

「お水取り」は752年以來、1度も中止されることなく続いている。

東大寺二月堂



### 存続の危機

- 1181年平氏に焼かれ大仏殿は炎上し、東大寺はすべての仏事を取りやめたが、僧侶15名が行った。
- 1945年3月13日夜、B29の編隊が大阪の住宅密集地を爆撃、2月堂にも空襲警報が鳴り響いていたが、松明の燈が外に漏れないように行った。

# ・・薬師寺・・

## 本薬師寺跡（元薬師寺跡）

第40代天武天皇が皇后の病氣平癒を祈願して藤原京で創建。天武天皇は亡くなるが、皇后が第41代持統天皇として即位し完成させた。

橿原市城殿町



奈良市西ノ京町



## 新薬師寺

第45代聖武天皇の病氣回復を願って光明皇后が747年に創建。

奈良市高畑町



## 薬師寺

藤原京で創建されたものが平城遷都の後、718年に西の京に遷された。



## 薬師寺の玄奘三蔵



玄奘三蔵院伽藍

玄奘三蔵（602－664）

法相宗の宗祖である唐の慈恩大師の師匠である。

629年に長安を旅立ちインドに向かい、多くの経典と仏像を持って645年に長安に戻る。帰国後は経典の翻訳に専念した。小説「西遊記」の三蔵法師のモデルとなった。



三蔵法師が孫悟空、猪八戒、沙悟浄らをお伴に中国から天竺（インド）へ経典を求めて長い旅をした様子を描いた小説。小説は中国16世紀明の時代に完成した。日本でもテレビドラマとして放送された。

薬師寺は法相宗の大本山であり、1991年に玄奘三蔵院が建立され、毎年「玄奘三蔵会」が行われている。

# 日本最古の金剛力士像(1)

仏敵が入り込むことを防ぐ守護神として金剛力士像が安置されている寺院が全国各地にある。金剛力士は金剛杵(仏敵を退散させる武器)を持つもの(\*11)。法隆寺の金剛力士像は711年に完成し日本最古のものである。なお東大寺南大門の金剛力士像は運慶、快慶により1203年に作られた(下の写真)。

金剛杵



阿形像



吽形像

阿吽 = 仏教の呪文。  
宇宙の始まりと終わりを現わす(\*12)。

→ **阿吽の呼吸**

# 日本最古の金剛力士像(2)



法隆寺金堂と五重塔

金剛力士像が安置されている法隆寺中門  
現在工事中



薬師寺中門 二天王像



# 相撲の発祥

相撲神社 力士石像



相撲の力士の立ち合いは  
まさに阿吽の呼吸で行われる

相撲神社  
(奥のブルーシートのところがカタヤケシ)



紀元前23年、第11代垂仁天皇のときに、桜井市の相撲神社にある「カタヤケシ」において、野見宿禰(のみのすくね)と当麻蹴速(たいまのけはや)が日本最初の天覧相撲を行った。これが相撲のはじまりとされている。相撲神社は野見宿禰と当麻蹴速を祀っている。

1962年日本相撲協会の顕彰大祭が行われ大鵬と柏戸の土俵入りが奉納された。

# 役行者と修験道



吉祥草寺

役行者(634-701)

本名は役小角(えんのおづぬ)。奈良の葛城山にいた呪術師。奈良県御所市の吉祥草寺で誕生したと伝えられる。

修験道の開祖。平安時代の「今昔物語」「日本霊異記」や江戸時代にも記述を残す。胃腸薬「陀羅尼助」は役行者が煎じたのが始まりとされる。

## 修験道とは(\*13)

日本古来の山岳信仰と神道、仏教、なかでも密教が融合した日本独自の宗教。深山に入って厳しい修行を行い、みずからの精神を高めて悟りを得ることを目的とする。

空海によって密教の山岳信仰が盛んになり、行者とみなされ修験道の開祖として崇拝されるようになった。

# 大峯千日回峰行 (1)

昨年、釜堀浩元氏（当時43歳）が千日回峰行を達成したことが話題になった。比叡山内や京都市内などを約千日間かけて巡礼する修行で、記録が残されている1157年以降で51人目である（\*14）。

奈良県南部にある大峯山でも千日回峰行が行われており、1300年の歴史の中で達成したのは2人しかいない。



大峯千日回峰行達成者－塩沼亮潤氏

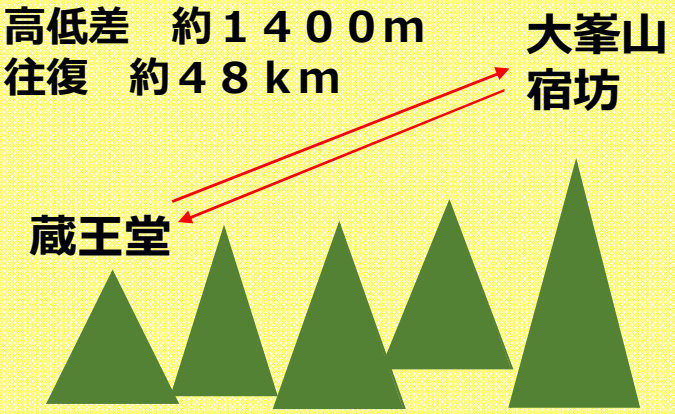
1968年仙台市生まれ。東北高校卒業後、吉野金峯山寺で出家。

1991年大峯百日回峰行を満行。

1999年大峯千日回峰行を満行。

2000年四無行を満行。

# 大峯千日回峰行(2)



…行というのはあまりにも自分自身を追い込み過ぎたら死に至ってしまうわけです。…死なないように、また甘やかさないように、ちょうどいい按配のところまで…心を研ぎ澄まして…自分自身に問いただしていくんです(\*15)。

歩く期間：5月3日から9月22日  
午前0時半ごろ出発し翌日の午後3時半ごろ戻ってくる。  
回峰行は歩行禅である。

途中で止めることはできない。  
止めるときは死して行が終わる。

塩沼亮潤  
仙台市 慈眼寺住職  
吉野一山 持明院住職  
大峯千日回峰行  
大行満大阿闍梨

# 吉野のさくら(1)

## 吉野山中千本の桜



吉野の桜はヤマザクラを中心に約200種類あり、約3万本の木が植えられている。下千本と奥千本では約600mの標高差があり開花時期に3週間程度の差がある。

修験道の祖、役行者が修行した際に蔵王権現の姿を桜の木に刻んだことにちなみ桜がご神木として崇められ参拝者が奉納した桜が増えていった。

蔵王権現は修験道の本尊であり、金峯山寺の本尊でもある(\*16)。



## 吉野のさくら(2)



吉野山中千本の桜

### 吉野に所縁のある歴史上の伝説(\*17\*18)

- 1185年—平家滅亡の立役者である源義経(牛若丸)が静御前や弁慶らとともに、源頼朝らの追手から逃れ吉水院に隠れ住んだ。静御前は京に戻され、義経らは奥州へ逃れ自害、吉野で今生の別れをすることとなった。
- 1336年—鎌倉幕府を倒し建武の新制を行った第96代後醍醐天皇は足利尊氏の造反にあい、吉野に逃れ朝廷を開いた⇒南朝。
- 1594年—豊臣秀吉が徳川家康、前田利家、伊達政宗ら総勢5千人で吉野山を訪れ花見を行った。

○西行法師(1118－1190)が約3年間草庵を結び多くの歌を残した。  
松尾芭蕉も2度訪れた。

# 吉野のさくら(3)

吉野山中千本の桜



如意輪寺

第96代後醍醐天皇の勅願所となった寺院。京に戻ることを切望していたが、1139年失意のうちに崩御。こちらに埋葬されている。

## ソメイヨシノ(染井吉野)

日本中で植えられている桜の約8割はソメイヨシノである。毎年気象庁で発表される桜の開花予報はソメイヨシノのものである。“吉野の桜=ソメイヨシノ”というわけではない。

ソメイヨシノは新しい品種で江戸末期に染井村(豊島区駒込)で売り出された。「吉野桜」と名付けて売り出し、人気を博した。吉野のブランドを利用することで全国に広まっていった。

最近のDNA分析の結果から、ソメイヨシノはオオシマザクラ(ヤマザクラが少し混ざったもの)とエドヒガンとの交配種であると考えられている(\*19)。

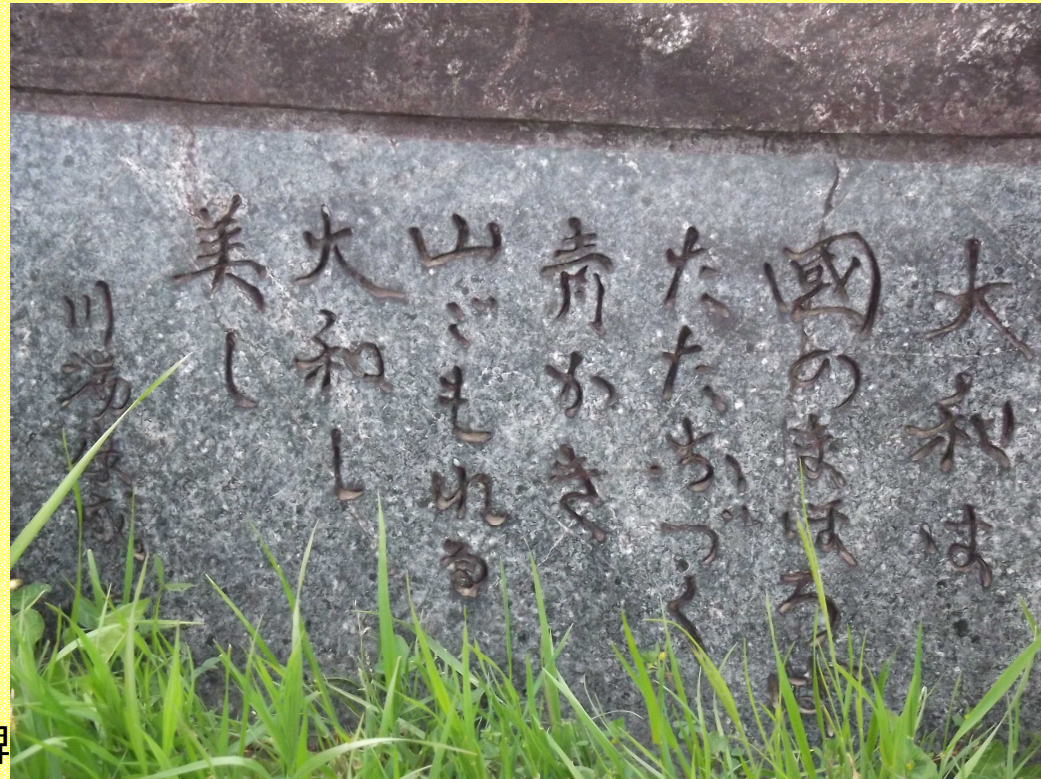
石舞台古墳のソメイヨシノ



# 大和は國のまほろば・・・

第12代景行天皇の子である倭建命（ヤマトタケルノミコト）が残した歌。景行天皇に命じられ東国遠征し、大和の都へ帰る途中、能褒野(三重県亀山市)で力尽き亡くなる際に詠んだ歌。古事記に記されている。

大和は国の中で一番良いところである。幾重にも重なりあった青い垣根のような山やまにかこまれた大和はほんとうにうるわしいところである(\*20)。

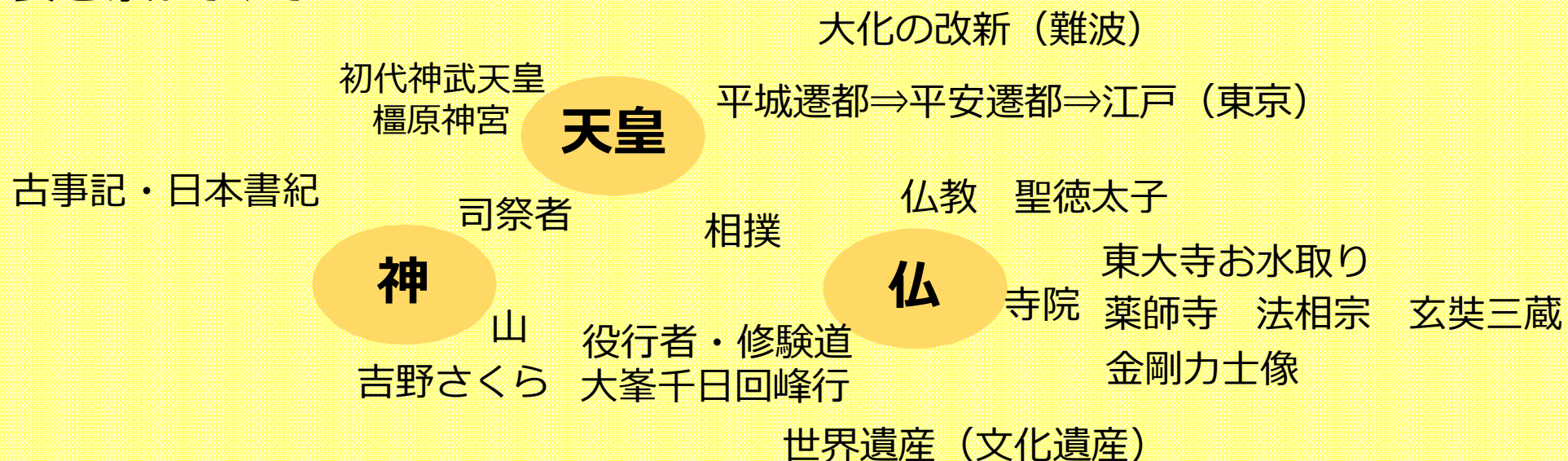


檜原神社近くの井寺池湖畔にある歌碑

大和は國のまほろば たたなづく青かき  
山ごもれる 大和し美し

# まとめ

○奈良を尋ねてみて・・・



○奈良を訪ねると・・・

美味しい食べ物、綺麗な景色や花が五感を刺激し、自然に宿る神や寺院の仏さまが心を鎮めてくれる。過去の歴史を振り返ると想像力が掻き立てられる ⇒ 認知症の予防

本日の講演におつきあいいただきありがとうございました。

## 出典（1）

1. 新村出編「広辞苑第七版」岩波新書(2018)P.17 P.1798
2. 薬師寺「伽藍のご案内 西塔」(2005)  
[http://www.nara-yakushiji.com/guide/garan/garan\\_seito.html](http://www.nara-yakushiji.com/guide/garan/garan_seito.html) (アクセス2018/5/27)
3. 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「世界遺産リスト アジア②」  
[http://www.unesco.or.jp/isan/list/asia\\_2/](http://www.unesco.or.jp/isan/list/asia_2/) (アクセス2018/5/28)
4. 奈良県地域振興部文化資源活用課「なら記紀・万葉 古事記と日本書紀の違い」  
<http://www3.pref.nara.jp/miryoku/narakikimanyo/manabu/chigai/> (アクセス2018/5/28)
5. 橿原神宮「神武天皇二千六百年大祭」(2014-2018) <http://www.kashiharajingu.or.jp/2600/>  
(アクセス2018/5/28)
6. 産経新聞社「産経ニュース 100年ぶり、大正天皇にならわれ、神武天皇式年祭 2016.4.4」(2016)  
<https://www.sankei.com/life/news/160404/lif1604040004-n1.html> (アクセス2018/5/28)
7. ウィキペディア「聖徳太子」(2018) <https://ja.wikipedia.org/wiki/聖徳太子> (アクセス2018/5/28)
8. 日本銀行「お金の話あれこれ 日本のお札に最も多く登場した人物は？」  
<https://www.boj.or.jp/announcements/education/data/are02n.pdf> (アクセス2018/5/28)
9. ウィキペディア「仏教公伝」(2018) <https://ja.wikipedia.org/wiki/仏教公伝> (アクセス2018/5/29)
10. 東大寺「東大寺 年中行事 修二会」(2009)  
<http://www.todaiji.or.jp/contents/function/02-03syunie1.html> (アクセス2018/5/28)

## 出典（2）

11. ウィキペディア「金剛力士」(2018) <https://ja.wikipedia.org/wiki/金剛力士> (アクセス2018/5/28)
12. ウィキペディア「阿吽」(2018) <https://ja.wikipedia.org/wiki/阿吽> (アクセス2018/5/28)
13. 淡交社編集局編「奈良の古社寺」淡交社(2017)P.106
14. 産経新聞社「産経WEST 比叡山焼き打ち以降で51人目…地球1周分踏破の荒行達成 2017.9.18」(2017) <https://www.sankei.com/west/news/170918/wst1709180044-n1.html> (アクセス2018/5/28)
15. 塩沼亮潤・板橋興宗著「大峯千日回峰行」春秋社(2015)P.75
16. ウィキペディア「蔵王権現」(2017) <https://ja.wikipedia.org/wiki/蔵王権現> (アクセス2018/5/28)
17. もりきあや著「おひとり奈良の旅」光文社(2016)P.78
18. 槇野修著・山折哲雄監修「奈良の寺社150を歩く」PHP研究所(2016) P317-328
19. 読売新聞「YOMIURI ONLINE ソメイヨシノはどこからやって来たのか」(2017/3/19) <http://www.yomiuri.co.jp/fukayomi/ichiran/20170317-OYT8T50014.html> (アクセス2018/5/28)
20. 桜井市「桜井市観光情報サイト 歌碑めぐり」(2014) <http://www.city.sakurai.lg.jp/kanko/manyokahimeguri/kashiramoji/yagyo/1394801397766.html> (アクセス2018/5/27)